

部署紹介

整形外科

整形外科部長兼脊椎センター長
兼リウマチ副センター長
兼機能外傷センター脊椎外傷部門長

金澤 元宣

当院整形外科では様々な脊椎^{せきつい}疾患の治療をしています。最近増加しているのが『成人脊椎^{せきちゅう}変形』の治療です。

成人脊椎変形とは？

◆大人になってから発症する脊椎変形◆

成人脊椎変形とは、その名の通り、大人になってから発症する脊椎変形を指します。脊柱の変形が原因で、痛み直立保持困難、長距離歩行困難といった症状があらわれます。このような症状は、患者さんのQOL^{※1}低下やADL^{※2}障害につながるため、それらを改善するために治療を行う必要があります。

成人脊椎変形は変性側弯症^{そくわんしやう}などのいくつかの疾患群の総称である

成人脊椎変形に分類される疾患群には、以下のとおりいくつかの種類があります。

- ◆ 変性側弯症(背骨が左右に曲がっている)
- ◆ 変性後弯症(背骨が後ろに曲がっている)
- ◆ 変性後側弯症(側弯変形と後弯変形の合併でもっとも高頻度)
- ◆ 小児期の特発性側弯症の成人期悪化例
- ◆ 脊椎固定術後の隣接部における後弯変形
- ◆ 医原性の後弯症(手術などの結果、後弯位で変形癒合してしまった)
- ◆ 骨粗しょう症による椎体骨折後の後弯変形 など

かつて、これらは個々の病名で称されていましたが、近年では「成人脊椎変形」と総称しています。

高齢化などの影響で脊椎変形に対する手術は増加している

近年、脊椎変形(小児を含む)に対する手術は増加しています。その背景にはまず高齢化があり、それに加えて、かつては加齢現象の結果とみなされ治療の対象とならなかったいわゆる「高齢者の腰曲がり」が、病態解明によって「成人脊椎変形」として認知されるようになり、医療技術の進歩によって治療できるようになったことが影響していると考えられます。

成人脊椎変形の症状

◆腰痛や直立姿勢保持・直立歩行の困難など◆

- 成人脊椎変形による代表的な症状は、以下のとおりです。
- 腰痛(立位時、背中の筋疲労によるもの)
- 直立姿勢保持困難
- 直立歩行困難
- 胃食道逆流症(腹圧の上昇と肋骨による腹部の圧迫で起こる)などの消化器症状
- 胃食道逆流症になると食事の量が減り、体重が減少することがあります。

成人脊椎変形における問題とは？

さまざまな症状によってQOLが低下する

これまでお話ししたように、成人脊椎変形はADL障害を引き起こし、さらに慢性的な腰痛や社会的活動の低下、姿勢の変化による劣等感や不健康感を伴うため、QOLの低下につながります。成人脊椎変形がQOLに与える影響は、関節炎や慢性肺疾患、糖尿病などの慢性疾患よりも大きいといわれ、また、脊椎変形のある高齢女性は入院のリスクが高く、生命予後が悪化するという報告もあります。

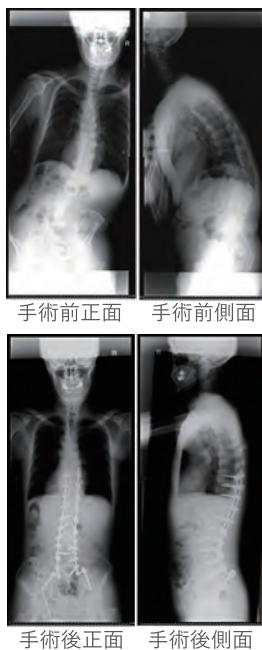
このような点から、成人脊椎変形に対しては可能であれば手術などの治療を行い、QOLの低下を防ぐことが重要です。ただし、すべての方が手術適応となるわけではありません。また、成人脊椎変形の手術は長い時間を要する大掛かりな手術で、合併症のリスクも伴います。そのため、治療(手術)によるメリットとデメリットを踏まえたうえで、治療法を選択することが大切です。

後弯になるとADL障害を起こしやすい

後弯(背骨が後ろに曲がっている)になると、少しでも重心をもとに戻そうとして、Aのように膝を曲げ、股関節を後ろにそらすことで立った姿勢を保持します。しかし、このような無理な姿勢は筋疲労のため長く続けられず、数十秒でBのように膝に手を置く前傾姿勢になってしまいます。



この例からわかるように、成人脊椎変形では、後弯になるとADL障害を起こしやすいといえます。当院の整形外科では成人脊椎変形の手術を数多く行っており、先ほど述べたようにすべての患者さんに手術が適応となるわけではありませんが、気になることがある方、成人脊椎変形で手術を検討されている方については、まず病院を受診して診察を受けていただくことをおすすめします。



基本的に当院では、成人脊椎変形の患者さんに対し、初診で手術を決めることはほぼありません。まずは治療のメリットとデメリットをきちんと患者さんにご説明し、さらにお話のなかでそれぞれの患者さんの人生観や価値観を理解してから、最終的に患者さんに治療を選択していただくようにしています。

「手術をして元気に余生を過ごしたい」という方もいれば、「手術はせずに可能な範囲で生活を続けたい」という方もいらっしゃいます。私たちは患者さんの人となりや理解して、最終的に患者さんのご希望が叶うよう、全力でサポートします。

- ※1 QOL: Quality of Life 「生活の質」
- ※2 ADL: Activities of Daily Living 「基本的な日常生活動作」



金澤 元宣

Profile

2006年7月
りんくう総合医療センター市立泉佐野病院 整形外科医長
2012年4月
整形外科部長 兼 脊椎センター長
2012年9月
整形外科部長 兼 脊椎センター長
兼 リウマチ副センター長
2022年10月 - 現在
整形外科部長 兼 脊椎センター長
兼 リウマチ副センター長
兼 機能外傷センター脊椎外傷部門長
外来日: 毎週火曜日 ※完全予約制